

令和4年度 学校自己評価システムシート (県立浦和西高等学校)

(A3判横)

目指す学校像	自主自立の精神を生かして、国際社会に貢献できる人材を育成し、地域に信頼される進学校
--------	---

重点目標	1 確かで高度な学力を確立し、第一志望を実現する質の高い授業の実践 2 地域に信頼され貢献できる生徒の育成 (信頼される人間力の育成) 3 たくましく健やかな心身の育成
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

(書面審査及び意見書の提出による)

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)		
年 度 目 標					年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	「確かで高度な学力の確立」の指標となる大学合格実績は、令和3年度卒業生も近年の高水準を堅持し、難関大学現役合格者数をさらに増加させ、過去最高を更新した。教員が生徒を尊重しつつ、献身的に指導を行い、生徒は自主自立の精神をもって、高い志を掲げ、全力で努力する。本校の躍進が窺っている。 課題は、大きな変化を見せた新傾向入試への対応及び令和4年度入学生から実施される新学習指導要領に基づく学力養成の体制整備である。	高い志を持って目標を設定し、「確かで高度な学力」を身に付け、最後まで諦めることなく第一志望実現に挑む生徒を育成する。 「確かで高度な学力」を身に付けさせる質の高い授業づくりを推進するとともに、生徒一人一人の進路希望に対応した多彩で効果的な学習機会を提供する。	1 「確かで高度な学力」の育成、第一志望の実現 ①進学校12校を対象とした県教育委員会事業「オンライン連携講座事業指定校」を活用した学習指導・進路指導の推進 ②大学入学共通テストをはじめとする新制度入試の動向把握と生徒への情報提供、学習指導への反映 ③進路相談や個人面談等による個に応じたきめ細やかな進路指導の実践 2 質の高い授業の実践 ①生徒による授業評価アンケートの実施(年2回)、シラバスを活用した授業改善 ②BYOD、ICTを活用した学習指導の充実 ③教科内研究協議、校内授業相互見学、予備校を含む外部講師受講による授業改善 ④観点別評価を活用した学習指導の充実	①旧帝大・医学部医学科等国立大学トップ校の合格者数増加 ②③難関大学の現役合格者数増加 国公立・早慶上理・GMARCH 一昨年度316名 昨年度352名 ①授業満足度の向上(昨年度87.7%) ②ICTを活用した指導の拡大・向上の状況 ③④授業力向上研修の拡大・向上の状況			
2	学校HPをはじめ、紙媒体の通信・冊子、youtube 動画等の多様なメディアを活用するとともに、対面での情報提供にも積極的に取り組み、開かれた学校づくりを推進している、本校に対する地域の信頼が高まっている。 地域との交流活動はコロナ禍による制約の中、限定的であった。コロナ禍3年目となる今年度の課題は、中止・縮小された交流活動の段階的な復旧または代替事業の着実な実施である。	様々なメディアを活用して西高の魅力情報を発信し、開かれた学校づくりを一層推進することにより、地域・県民との信頼関係をより強固なものにしていく。 コロナ禍において、自ら率先して考え、工夫し、地域との交流や社会貢献活動に取り組むことができる生徒を育成する。	1 本校の特色、教育活動の状況、生徒の活動の発信 ①情報発信の中心である学校HPの充実 ②紙媒体「学校通信」の充実 ③保護者アンケートの導入 ④学校説明会の効果的な実施、部活動見学会等の開催 ⑤中学校、学習塾を含む高校説明会への積極的参加 2 新型コロナウイルス感染拡大により中止・縮小された地域交流活動の段階的な復旧または代替事業の着実な実施 県・保健所の指導の下、感染防止対策を徹底した上で、 ①PTA・後援会と連携した事業の推進 ②斜面林友の会と連携した斜面林保全活動の推進 ③生徒会主催クリーンアップ作戦(地域清掃)等社会貢献活動、ボランティア活動への参加促進 ④90周年記念事業準備委員会の設置	①HPの構成、コンテンツの改善・充実の状況 ②「学校通信」の定期的発行、内容の充実の状況 ③保護者アンケート結果の状況 ④⑤入試の志願倍率の状況 ①②③地域交流活動、社会貢献活動の復旧・代替事業の実施の状況 ④準備委員会の活動の状況			
3	全校生徒が授業や部活動、生徒会活動に積極的に参加し、学習面・生活面でしっかり自己管理しながら取り組んでいる。自ら考え、課題を発見し、その課題を解決する力(西高力)を伸長させた。 課題は、引き続き、交通マナーの遵守をより徹底していくこと等である。また、新型コロナウイルス感染拡大により中止・縮小されたグローバル(国際理解)教育の代替事業の着実な実施である。	学習面・生活面で自己を管理し、部活動や生徒会活動に積極的に参加することで、「西高力」(自ら考え、課題を発見し、その課題を解決する力)を育成する。 地域や国際社会に貢献、活躍するリーダーを育成する教育を充実させる。	1 自己管理能力の育成 ①朝学習・家庭学習の奨励、学習支援ツールの活用による支援 ②部活動・生徒会活動・学校行事の充実 ③自己管理能力の育成 生徒指導部による交通マナー指導、遅刻防止指導の徹底 生徒会主催のUNマナーアップ作戦(交通マナー遵守)の実施 2 新型コロナウイルス感染拡大により中止・縮小されたグローバル(国際理解)教育の代替事業の着実な実施 県・保健所の指導の下、感染防止対策を徹底した上で、 ①オーストラリア交流(今年度中止)の代替事業の実施 ②ボストン研修(または代替事業であるエンパワメントプログラム)の着実な実施 ③留学生の受入、海外派遣事業への段階的参加	①授業以外の自主的学習時間の増加 ②部活動加入率の維持・向上(昨年度97%) 生徒会活動・学校行事の実施状況、執行部参加生徒数の増加 ③年間遅刻者数減少、交通マナーの遵守の状況 ①代替事業の実施の状況 ②ボストン研修(または代替事業)の実施の状況 ③留学生の受入、海外派遣事業への参加の状況			

学 校 関 係 者 評 価		
実施日	令和	年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等		